

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U) 昭60-102011

⑫ Int. Cl.⁴
A 61 F 5/43識別記号 庁内整理番号
6404-4C

⑬ 公開 昭和60年(1985)7月11日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑭ 考案の名称 口縁部拡張具を使用する脱落防止コンドーム

⑮ 実 願 昭58-195258

⑯ 出 願 昭58(1983)12月18日

⑰ 考 案 者 小 林 丈 夫 東京都新宿区中落合4丁目20番12号

⑱ 出 願 人 小 林 丈 夫 東京都新宿区中落合4丁目20番12号

⑲ 実用新案登録請求の範囲

イ 口縁部を極端に細くしたコンドーム1。

ロ 実用新案登録請求の範囲第1項イ記載のコンドームにおいてその装着を容易ならしめるために、金属又は合成樹脂等により作られた凹部を有するコイルばね2をリング状にし、ゴム等の伸縮性のある被膜3にて覆つたことを特徴とする口縁部拡張具5。

以上の構成よりなるコンドーム。

2 実用新案登録請求の範囲第1項ロ記載の口縁部拡張具5において、その構造を金属又は合成樹脂等により作られたスリット4'を有する円形板2'を同一方向に重ねたものをリング状にし、ゴム等の伸縮性のある被膜3'にて覆つたことを特徴とする口縁部拡張具5'。

図面の簡単な説明

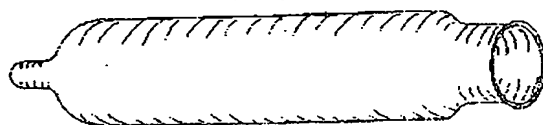
第1図は、従来のコンドームを使用して射精後の陰茎の縮小によりコンドームの脱落及び精液の漏れを起している状態を例示する説明図。第2図は、本考案の「口縁部を極端に細くしたコンドーム」を使用して射精後の陰茎縮小時においてもそのコンドームが陰茎基部に密着して脱落及び精液

の漏れを防止している状態を例示する説明図。第3図は、本考案コンドームの斜視図。第4図は、本考案によるコンドームを巻きあげた状態の斜視図。第5図は、第4図のA-A線における断面図。第6図は、本考案のコイルばねを芯とした口縁部拡張具の平面図。第7図は、第6図のB-B線における断面図。第8図は、第7図のC-C線における断面図。第9図は、本考案の円形板を芯とした口縁部拡張具の平面図。第10図は、第9図のD-D線における断面図。第11図は、第10図のE-E線における断面図。第12図は、イ、ロ、ハ、ニ、の順に装着の順序を示す説明図。

1…本考案による口縁部を極端に細くしたコンドーム、1'…従来よりのコンドーム、2…凹部を有するコイルばね、2'…スリットを有する円形板、3、3'…被膜、4、4'…スリット、5…本考案によるコイルばねを芯とした口縁部拡張具、5'…本考案による円形板を芯とした口縁部拡張具、6…勃起した陰茎、6'…射精後の縮小した陰茎、7…膣、8…精液の流れ。

実開 昭60-102011(2)

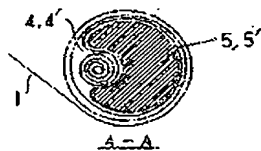
第3図



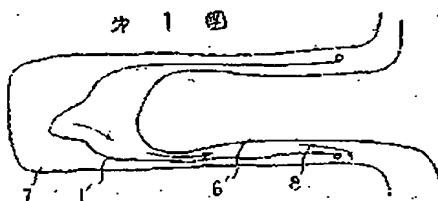
第4図



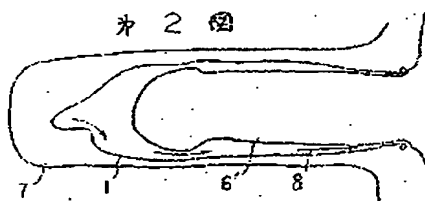
第5図



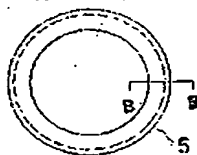
第1図



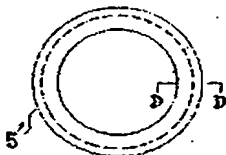
第2図



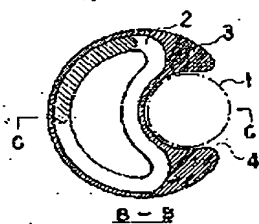
第6図



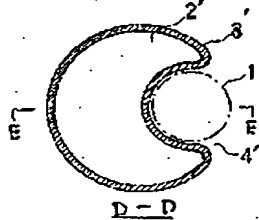
第9図



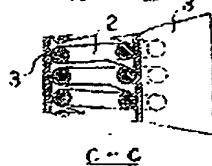
第7図



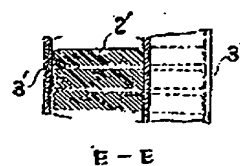
第10図



第8図



第11図



実開 昭60-102011(3)

※ 12 図

